

記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年1月26日朝刊西部版



聴覚障害者の買い物を疑似体験するイベント
＝2020年12月、東京都板橋区

伝わってますか？ マスク越しの会話

コロナ下のコミュニケーション

新型コロナウイルスの感染予防で普及したマスクが、対面コミュニケーションに影響を与えている。声も表情も伝わりにくく中で相手との距離感を縮めるにはどうすればいいのか。研究者は、視線など「非言語情報」の重要性を指摘。この壁に長年向き合ってきた聴覚障害者に学ぶ取り組みも行われている。

聴覚障害者から学ぶ

「どうすれば『84円切手』が伝わるのか」「肉まんの中からしを一つ付けてもらうには…」昨年12月、東京都内のコンビニ撮影セットで聴覚障害者の買い物を疑似体験するイベントが開かれた。巨大スピーカーから爆音で流れるメタルロックの

「声が聞こえないから、自分から踏み込まないと伝わらない」と感想を口にした。「店員さんの表情が見えず『アッ』とさせた？」と心配になったなど、すれ違いを感じる場面もあったようだ。実は店員役は、ろう者の劇団員ら。客の目やしぐさから意図を酌んで買い物を助けた。企画した聴覚障害者支援団体サイレントボイス（大阪市）の尾中友哉代表によると、耳が不自由な人は目

■ 聞き取りにくい声 ■ 読み取りづらい表情

なく、会話を先読みできることもある。尾中代表はイベント後、「相手に歩み寄って想像力を働かせることが大切。伝えることを諦めないでほしい」と訴えた。

化粧品メーカーのマンダムが昨年、20～69歳の男女1110人に行ったインターネット調査では、マスクを着けた状態での意思疎通の課題は「声が聞き取りにくい」（46・9％）がトップ。「表情を読み取りづらい」（36・4％）「こちらの感情が伝わりにくい」（22・1％）が続いた。

宝塚大の竹内一郎教授（非言語コミュニケーション論）によると、人が受け取る情報のうち言葉の内容は7％で、残りはしぐさや表情などの非言語情報という。「すれ違いを避けるには、眉や目で表情を作った上で滑舌を良くし、声の抑揚も工夫する必要があると指摘。『耳が不自由な人はコミュニケーションは本来大変なもの』と知っている。マスク時代を生きる私たちは、彼らから学べる（ことがある）と話した。

①マスクを着けていると対面コミュニケーションがとりにくいのはなぜですか。記事中から探して、3つ書きましょう。

- (**声が聞き取りにくいから。**)
- (**表情を読み取りづらいから。**)
- (**こちらの感情が伝わりにくいから。**)

②人が受け取る情報のうち、「言葉の内容」は何パーセントですか。また、それ以外の情報は何か。

(**7**)% (**しぐさや表情などの非言語情報**)

③マスクを着けていてもコミュニケーションが成立するためには、どのような工夫が必要ですか。記事を参考にして30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)眉や目で表情を作った上で滑舌を良くし、声の抑揚も工夫する。(29字)
相手に歩み寄って想像力を働かせることが必要。(22字)
指やジェスチャーを使って自分から踏み込んでいくこと。(26字) など

年 組 名前